

オプトアウト用情報公開文書 2

1. 研究課題名	思春期食物アレルギー患者の実態～移行期医療を目指して～
2. 研究の対象	1) 2019年4月から2024年3月の期間に、食物アレルギーを主訴に研究実施施設を受診したもの 2) 受診時に12歳以上であったもの
3. 研究目的・方法	【目的】本研究では、思春期まで通院を継続している食物アレルギー症例を後ろ向きに集計して、アレルギーの状況や現在実施している医療の内容を調査することを目的とした。移行期医療の対象となってくる思春期食物アレルギー患者の診療状況を理解することで、小児科から成人科への移行が進まない現在の状況を変える一助になることが期待される。 【方法】観察研究（後ろ向き、症例集積研究） 調査は、対象期間のカルテを確認して行う。 【期間】施設承認～2026年3月31日（□延長の可能性あり）
4. 研究に用いる試料・情報の種類	調査時の年齢（※期間内に複数回受診の場合は最終受診時）・性別・エピペン所持の有無・その他のアレルギー疾患（アトピー性皮膚炎、気管支喘息、アレルギー性鼻炎）・家族のアレルギー歴（アトピー性皮膚炎、気管支喘息、アレルギー性鼻炎）・調査時のFA診療状況（経過観察、エピペン含誘発症状対策のみ、誘発症状内服薬のみ、免疫療法実施中）・調査時に存在するFAの有無・アレルゲン毎の免疫療法実施の既往の有無・アレルゲンにピーナッツ、カシュー、クルミがある場合は、血液検査の抗体価（ピーナッツ・カシュー・クルミのsIgE、Ara h2, Ana o3, Jug r1）・最終検査時の特異的IgE抗体価（ピーナッツ、カシュー、クルミ、各コンポーネント）
5. 外部への試料・情報の提供	なし
6. 研究組織	研究代表者 市立貝塚病院 小児科 副部長 山崎晃嗣 共同研究機関における研究分担者 近畿大学病院 小児科 助教 B 倉橋詔子 近畿大学病院 小児科 医学部講師 竹村 豊 個人情報管理者 市立貝塚病院 小児科 部長 岡野意浩
7. お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象

	としますので、<u>2025 年 09 月 30 日までに下記の連絡先までお申出</u>ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 市立貝塚病院 小児科 ・ 山崎晃嗣 （研究責任者） 〒597-0015 大阪府貝塚市堀 3 丁目 10 番 20 号 TEL:072-422-5865 FAX:072-439-6061 研究責任者： 市立貝塚病院 小児科 副部長 山崎 晃嗣 研究代表者： 市立貝塚病院 小児科 副部長 山崎 晃嗣
--	---